

# 今と未来を語ろう

今回決定した県の予算から、吉川市のインフラ整備に関する主なものと、未来に向けての取り組みをお伝えします！

## 1 吉川橋架け替え



●ようやく始まった吉川橋の架け替え事業。26年度も順調に進められます。また、吉川橋から吉川中央そしてカスミに続く道路の整備にも予算が付き、進められてゆきます(^)。

## 2 江戸川河川敷



●野球、ソフトボール関係者の長年の希望だった「江戸川河川敷にある野球場の方向変えを含む整備」。ようやく予算化され、今年の秋以降に工事が始まります(^)。

## 3 加藤平沼線の歩道



●加藤平沼線（コーナン前の道路）のローソンからマクドナルド方向への自転車歩行者道が整備されます。今までその部分だけ歩道がなかったのですが、これで安全に(^)。

## 4 吉川美南高校



生徒さん達と陸前高田市へ

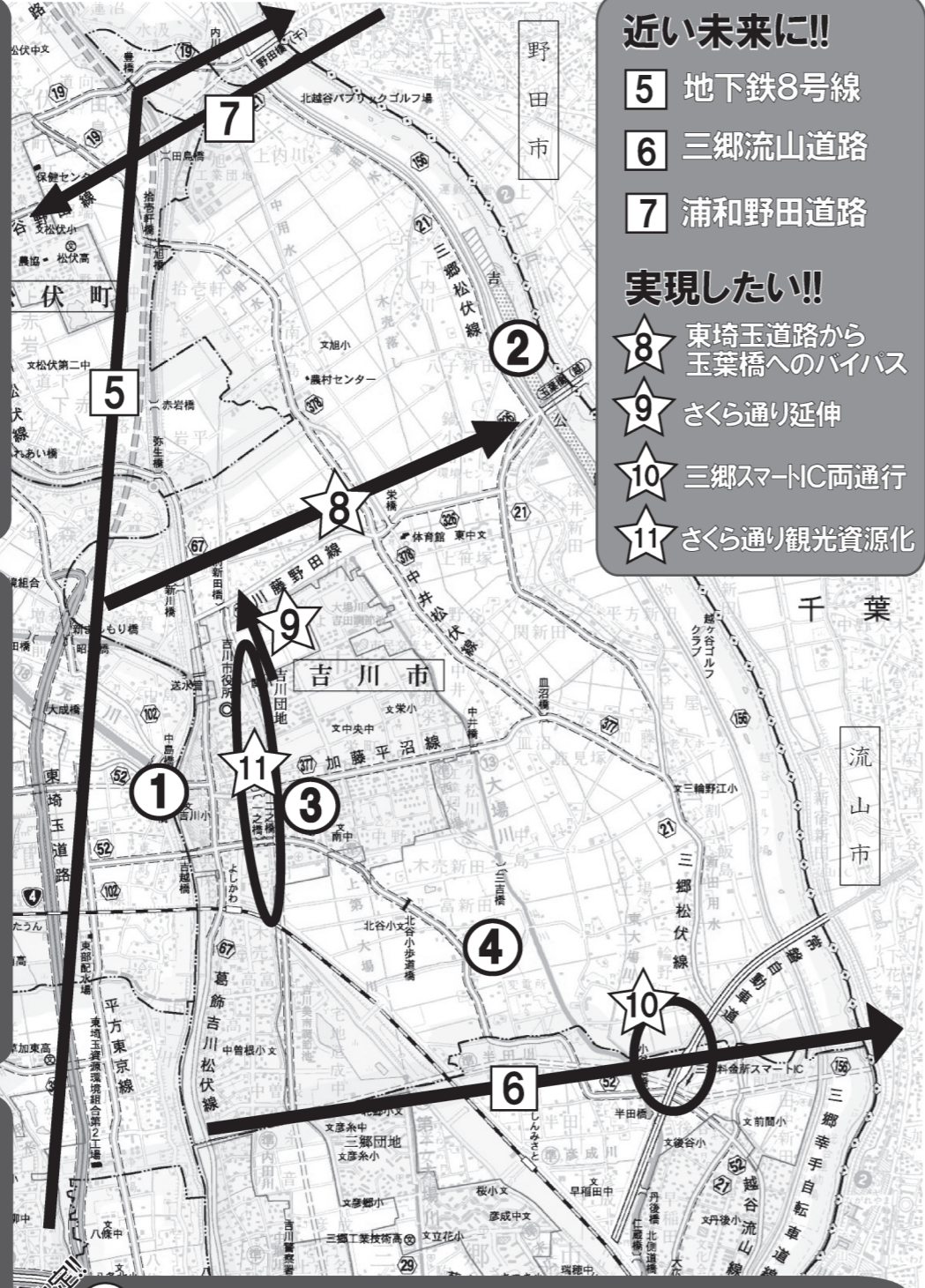
●昨年新たに生まれ変わった「県立吉川美南高校」。バリアフリー化、設備改修、教材教具整備などに大きな予算がつきます。充実した環境の中での生徒達の飛躍に期待します(^)。

### 近い未来に!!

- 5 地下鉄8号線
- 6 三郷流山道路
- 7 浦和野田道路

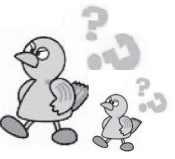
### 実現したい!!

- 8 東埼玉道路から玉葉橋へのバイパス
- 9 さくら通り延伸
- 10 三郷スマートIC両通行
- 11 さくら通り観光資源化



# 吉川市の問題を語ろう

今、吉川市では何が起きているでしょうか？  
来年2月に市長選挙を控え、争点となる課題が多々あります。



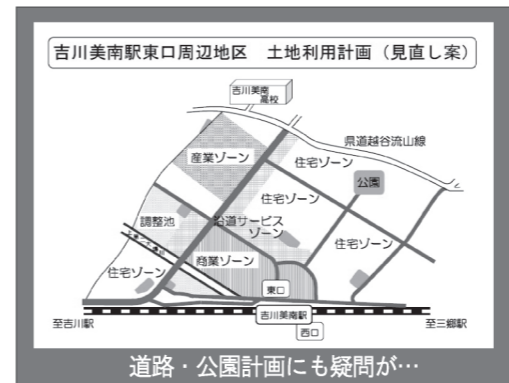
## ~1~ 新庁舎建設

- ◆老朽化、低い耐震性、手狭等を理由に、新庁舎が建設されます。災害時の指揮本部としての役割を考えれば、市役所がしっかりとした建造物であることは重要ですが、総事業費が**55億円を越える**必要があるでしょうか？（吉川市の一般会計予算は188億円です。）
- ◆十分な周知、コンセンサス形成も無く、計画から工事、手続きまでが急ピッチで進められています。
- ◆今後の自治体合併、少子高齢化を考えれば、市民が年に数回使うかどうかの市役所に多くのお金を使うより、市民生活にダイレクトにプラスになるものに予算を組むべきです。



完成予想図だが…、もっと簡素なものを

## ~2~ 吉川美南駅東口開発



道路・公園計画にも疑問が…

- ◆吉川美南駅から吉川美南高校へと続く東口側の開発が、これもまた急ピッチで進められています。しかし、住宅をつくり人口増加を目指す旧来通りの開発案のみで、未来に向けた街づくりのビジョンがありません。
- ◆市が主体となり、約174億円(市・約44億円)もの事業。もっと丁寧に地権者や市民の意見を集め、教育、産業、医療をテーマとした吉川市の顔として誇れる街づくりを目指すべきです。
- ◆このままでは未来に残るのが借金ばかり、となりかねません。

## ~3~ フロリデー問題

- ◆虫歯予防策として水道水へのフッ化物添加を進めようとしている吉川市に対して、反対する市民が約7500人分の署名を戸張市長に手渡しましたが、「フロリデーの安全性や有効性は実証されており、今後も正しい情報の提供に努めたい」と戸張市長がコメント。そのニュースがNHKでも取り上げられました。
- ◆「水道水の公共性の高さ」「フッ素症の危険性」「虫歯数が減少している現状」の3点から僕も反対を主張してきましたが、ここにきて戸張市長は「**当面、事業化を進める予定は無い**」と答弁。しかし事業推進には予算が付けられています。この矛盾は見すごせません。



NHKニュースでこの問題が…

## ~4~ 大久保クリニック問題



2014年2月28日 朝日新聞

- ◆2月27日、公正取引委員会は、「吉川松伏医師会」が行っていたインフルエンザ価格のカルテルに対し、独占禁止法に違反するとして、「排除措置命令」を下しました。これにより、インフルエンザ価格の値下げを訴えた「大久保クリニック」の主張の正当性は認められた事になります。
- ◆しかし、問題は「医師会の現執行部」対「大久保クリニック」に留まりません。
- ◆市が、常に「医師会・現執行部」に寄り添った形で事業を進めていることが問題です。その結果、「子供を抱えるお母さん達が直接公費でワクチン接種が出来ない」「市の助成金付きの子宮がん検診が受けられない」「**法律違反した医師会を税金で優遇**」と市民に大きなシワ寄せがきているのです。「誰の為、何の為の行政か」ということが問われています。